

平成 5年 3月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 Tel.0428-23-6859)

青梅市内の橋

平成3年4月1日現在、青梅市内には615の橋がある。内訳は永久橋405橋、木橋210橋である。これを多摩27市中で比較してみると、第二位の八王子市413橋を断然引きはなし青梅市がトップである。ちなみに、最小は狛江市の10橋である。

青梅市内にこのように橋が多いのは、市域面積が広いということのほか、多摩川と成木川・黒沢川・霞川など荒川の支流が流れており、河川が多いということによる。

橋は材料によって木橋、コンクリート（鉄）橋に分類される。このほか、昔は土橋とよばれる土と木で造られた橋があったが、今は見られない。土橋は造ることも簡単なかわり、増水時は流されたり、重い荷車が通行中、荷車もろとも落ちてしまったなどということがあったらしい。

昔は架橋技術がまだ未熟だったため、川幅の広い地点には架橋できなかった。多摩川に架橋するのは相当難しく、減水期に木場が仮設されたが、夏期には渡し船が利用された。現在、架橋されている地点の近くには、渡し船が設けられていた。

市内の多摩川に架けられている橋には次のようなものがある。（上流より）

橋名	架橋地点	完成年(永久橋として架橋された年)
神路橋	沢井上分-御岳	昭和8年
御岳橋	沢井上分-御岳	昭和4年
楓橋	沢井下分-柚木	昭和5年
軍畑大橋	沢井下分-柚木	平成3年
奥多摩橋	二俣尾-柚木	昭和14年 平成2年
神代橋	日向和田-下	昭和16年 昭和44年
和田橋	日向和田-日陰和田	昭和40年
万年橋	青梅-畑中	明30年 明40年 昭18年 昭49年
調布橋	千ヶ瀬-上長淵	大正10年 昭和10年 平成5年予定
下奥多摩橋	千ヶ瀬-下長淵	昭和8年 昭和48年
多摩川橋	小作-友田	大正9年 昭和14年 昭和62年

「万年橋」以外はすべて地名等の固有名詞が付されている。このことから万年橋の重要さと、土地の人々のプライドが読み取れる。今の橋は4代目で市内最古の架橋である。下流にある調布橋、面目を一新して近々デビューすることであろう。

(文責 川鍋幸三郎)